

# しんめいばら

回 覧

第 170 号  
2019.6.20

定期整備!

六月二日(日)久しぶりに春らしい穏やかな朝を迎え、二十三名の参加により整備を行いました。先月トレーに播いたセンニチコウが発芽し、ポットに移植する作業を子供達やお母さんに初めて体験していただきました。その間会員は長年使用してきた腐葉土作りのケージが風雨で倒壊寸前となったため、やむなく分解作業を行いました。愛護会も設立以来十五年が経過し、会員の高齢化が進んできましたが、可能な限り活動を継続して皆様が見守る公園を維持したいと思います。



真剣に移植中!



なかなか抜けないね!

子供会と共に!

六月十八日(日)昨夜の大雨が朝には快晴となり、毎年恒例の子供会との共催で公園整備を行いました。子供会も会員が減少しているなか、多くの子供が参加し、雨に濡れた雑草の抜き取りや、藤棚下の休憩スペースの清掃などを行いました。日差しも強く、汗をかきながらでしたが、子供達は父母の方々と共に一生懸命作業を行い、草ぼうぼうだった公園の一角が見違えるように綺麗になりました。公園の美化を体験し、綺麗な公園で遊ぶことの大切さを実感してくれたと確信しました。

豆知識!

『静岡は熱帯になった?』

駿河区で夏、ブーゲンビリアが見られるところは、小黒のいこいビジネスホテルと南部しまん市の駐車場。サトイモに似たクワズイモも市内のあちこちで見かけるようになりました。サトイモは、渡来したのが古すぎて、もともと日本にいたような顔をしています。サトイモの場合は、日本の植物みたいに見えますが、先祖が熱帯から来たので冬の寒さに耐えられず、地下の芋だけ残して地上部が枯れてしまいます。しかし、ブーゲンビリアやクワズイモは、少し寒そうにしていますが、なんとか生きてきたまま冬を越すことができます。因みにクワズイモは、サトイモの仲間です。パッションフルーツも近年冬に耐えて毎年丸い実を付けます。清水区で見ました。今日登場した植物は、すべて熱帯原産です。



パッション:イエスの受難のこと。花の中心が十字架に見える?

(おいしい果樹の育て方より)

今日の公園!



梅雨入りを知らせるアジサイ!



お知らせ!

○ 七月の公園整備は七日(日)及び二十一日(日)です。花壇整備、花苗植栽などの作業を行います。

○ 七月の回収、ビン・缶は二十三日(火)、古紙は二十八日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在二十名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで